

栗原市瀬峰地区に2024年3月オープンした「アロエリゾートカフェ」が注目を集めている。カフェでは地場産品とともにアロエベラを使った「アロエランチプレート」が人気を集め、近隣住民からは「気軽に集まれる場所ができた」と好評である。県内のみならず東北各県や遠方では滋賀県から訪れた人もいるという。

経営者の白鳥未夜さんは20年前、夫の両親が趣味で栽培していたアロエベラを引き継いだのがきっかけだ。引き継いだ10株から始めた栽培は現在約200株に増え、農薬不使用で丁寧に育てた大株は圧巻だ。

アロエベラは亜熱帯原産で寒さや過湿に弱い。白鳥さんは冬にハウスビニールを二重にするなど、東北の冬に対応する工夫を重ねている。

白鳥さんは「アロエをもっと多くの人に知ってほしい」と熱く語る。家族の小さな趣味から始まった挑戦は、地域を賑わすきっかけとなり、新たな農業・観光資源として期待されている。

【記事提供】 栗原市農業委員会

アロエベラと白鳥さん



カフェで提供しているアロエドリンク



カフェ内観

